JIS

溶接及び熱切断用シールドガス

JIS Z 3253 : 2011

(JWES/JSA)

平成 23 年 3 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 溶接技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 田 隆 司	名古屋大学
(委員)	伊 勢 典 浩	社団法人日本鉄鋼連盟
	榎 本 正 敏	社団法人軽金属溶接構造協会
	太 田 幸 男	高压ガス保安協会
	小 俣 和 夫	三井造船株式会社
	恩 澤 忠 男	東京工業大学名誉教授
	北 田 博 重	財団法人日本海事協会
	吉 良 雅 治	社団法人日本産業機械工業会
	小見山 輝 彦	社団法人日本溶接協会
	齋 藤 博	社団法人全国鐵構工業協会 (萩浦工業株式会社)
	下 村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	戸河里 敏	社団法人建築業協会 (鹿島建設株式会社)
	中 田 一 博	大阪大学
	中 野 利 彦	株式会社神戸製鋼所
	山 根 敏	埼玉大学
	横 野 泰 和	社団法人日本非破壊検査協会 (ポニー工業株式会社)

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 15.1.20 改正：平成 23.3.22

官 報 公 示：平成 23.3.22

原 案 作 成 者：社団法人日本溶接協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11 産報佐久間ビル TEL 03-3257-1524)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：溶接技術専門委員会 (委員長 宮田 隆司)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	2
5 種類の記号の付け方	4
6 品質	5
7 試験方法	5
7.1 一般事項	5
7.2 数値の丸め方	6
7.3 試料の採取方法	6
7.4 純度及び水分の試験方法	6
7.5 混合ガスの濃度の試験方法	6
7.6 再試験	7
8 容器	7
9 表示	7
附属書 A (規定) シールドガス組成のガスの性質	8
附属書 JA (参考) 露点から水分を求める方法	9
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	13

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本溶接協会（JWES）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 3253:2003** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

溶接及び熱切断用シールドガス

Shielding gases for fusion welding and thermal cutting

序文

この規格は、2008年に第2版として発行されたISO 14175を基に、対応する部分（種類及び品質）については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目（試験方法、容器及び表示）を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所及び附属書JAは、対応国際規格にはない事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

1 適用範囲

この規格は、次のシールドガス、作動ガス及びアシストガス（以下、シールドガスという。）について規定する。ただし、溶接・熱切断に使用する燃料ガス、溶射に使用するガス、レーザ発振用ガス、プラズマ切断及びレーザ切断に使用する空気を除く。

- a) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガス
- b) プラズマ溶接に使用する作動ガス及びシールドガス
- c) プラズマ切断に使用する作動ガス及びアシストガス
- d) レーザ溶接に使用するシールドガス
- e) レーザ切断に使用するアシストガス
- f) アークろう付に使用するシールドガス
- g) レーザろう付に使用するシールドガス
- h) バックシールドに使用するシールドガス

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14175:2008, Welding consumables—Gases and gas mixtures for fusion welding and allied processes (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7983 排ガス中の酸素自動計測器

JIS K 0050 化学分析方法通則

JIS K 0114 ガスクロマトグラフ分析通則